

理性 情熱 友愛



三郷市立北中学校  
挨拶一番 授業一番  
花一番 清掃一番 歌声一番  
第3学年 進路通信  
平成28年5月27日  
第9号

## 志望校を考える上で、大切なこと

すでに校長面接が始まっていますが、その面接資料には「進路希望の理由」を記入する欄があります。その内容を見てみると、中には「家から近いから」、「学力が自分に合っているから」といったことを書いている人がいます。たしかに、**家から距離的に近いことも大切ですし、学力的に合っていることも大切なのですが、なんだか漠然と選んでいて、コレといった理由がない感じの人がいます。そうやって選んだ高校は「あなたが本当に入りたい高校」なのでしょうか。「あなたの夢を叶えるために通いたい高校」なのでしょうか。**高校を選ぶ視点としては、なにか物足りないような感じがします。

みなさんは、今年15歳になります。すでに誕生日を迎えた人もいます。ということは、5年後には成人式を迎え、社会人として世の中に出ることになります。その時、あなたは、どんな暮らしをしているのでしょうか。まだ学生でしょうか、それとも、働いているのでしょうか。結婚はしているのでしょうか、それとも、まだ独身でしょうか。さらに、10年後(25歳)、20年後(35歳)、30年後(45歳)、40年後(55歳)、50年後(65歳)には、どんな暮らしをしているのでしょうか。

『進路』とは「自分の将来」のこと。そして、それを「決めるのは、他の誰でもないあなた自身」です。その希望の進路を実現していくためには、「長期的な見通し」と「短期的な見通し」が必要になります。例えば、自分の一生という時間の中で、「将来、どんな職業につきたいのか、また、そのために、どんな力を身に付ければよいか」、「将来、どんな暮らし方をしたいか、どんな人生を送りたいか」などは「長期的な見通し」といえるでしょうし、「高校に入るために、どんなことを頑張ればよいか」、「高校に合格するためにどんな勉強をしていったらよいか」などは「短期的な見通し」といえるでしょう。実際、高校に入学してみると、**高校1年生のこの時期(6月頃)にはもうすでに、「高校卒業後に、文系に進むのか、理系に進むのか。また、卒業後はどうするのか。そのために、2年生・3年生では、どの教科を選択するのか。」などの調査が始まっている学校が多いようです。高校に合格してまもなく、「高校卒業後のことについても考えておかなければならない状況になる」ということです。**実際、私の2人の娘が入学した高校でもそうでしたし、入試の時の面接でも聞かれたと言っていました。

今、受験生であるみなさんは、北中を卒業した後に、どの上級学校に進むかということを中心に考え、受験勉強をしたり、いろんな高校の説明会に参加したり、インターネットで調べたりしていることと思います。しかし、それだけでは十分ではないということです。

「将来、自分はこの職業につきたい。だから、こういったことを身に付けていかないと」とか「高校を卒業した後、大学に進みたいから、勉強を頑張っておこう。就職するために、いろんな資格を取得するようにしよう」といった「長期的な見通し」についても考えておいた方がよいということです。

受験本番までまだ日がある今のうちに、こういったことを考えておくのも大切なことです。入試の面接などで、「高校入学後、どんなことを頑張るのか」、「将来、どういった道に進みたいのか」を聞かれることもあります。保護者の方や学校の先生たち、親戚の方など、周りには、社会人として生活しているたくさんの先輩たちがいますから、そういった人たちからいろんな経験談などを聞いて、自分の人生をどうするのかを考えておくといいですね。